

PF I・PPP協会

観光PFIで9月に部会

メンバー募りモデル事業

日本PFI・PPP協会(植田和男理事長)は、財政難に苦しむ自治体の新たな収入源を確保するため、「観光創造館PFI事業部会」を発足させ

る。行政や民間、有識者、観光関連団体などから参加メンバーを募り、9月中旬にも初会合を開く予定だ。月1回程度会合を開き、参加自治体の中からモデル事業を選定し、観光インキュベーション機能を持つ「観光創造館」の設立・運営を目指す。

として観光が注目されているものの、その取り組みは遅々として進んでいない。地域の資源や特徴を生かしたビジネスを創造する必要があり、行政や民間、住民を含めた地域の総合的取り組みが不可欠なためだ。

観光の関係者は幅広く、旅行業、運輸業、宿泊業だけでなく、ケースによっては農林水産業や建設業、医療なども深く関係する。事業化に向けた拠点施設が地域ごとに必要になることから、同協会では観光インキュベーションセンターを立ち上げ、新たな観光産業の創出とPFI方式の活用を目指すことにした。

観光の観光Nセンターは、地域の観光POなど関係団体のオフィスや会議の場を提供する施設。9月に立ち上げる事業部会で、施設の具

体化に向けた構想を策定するとともに、観光庁、農水省、経済産業省、内閣府の協力も得ながら国の支援制度を整理。インキュベーション機能を持つ「観光創造館」の具体化を目指す。

事業部会で専門家を登録しておき、各地域の「観光創造館」の運営主体に派遣するほか、コンセッション方式の適用も支援する。ケースによっては、同協会が別途設けている「IR(カジノ)を含む統合型リゾート)部会」との連携も視野に入る。

部会への参加申し込みは同協会(電話03・6809・2259、FAX03・6809・2292)へ。